

それいゆ

＊それいゆはフランス語で太陽＊

No.61
平成21年12月5日号
草加市男女共同参画情報紙「それいゆ」

■ご意見・ご要望をお寄せください■
発行 草加市自治文化部人権共生課
企画・編集 「それいゆ」編集協力員
TEL 048-922-0825
FAX 048-927-4955
〒340-8550 草加市高砂1-1-1
E-mail:jinken-kyosei@city.soka.saitama.jp

今年は、男女共同参画社会基本法制定から10周年、女子差別撤廃条約採択から30周年、そして、草加市くらしを支えあう男女共同参画社会づくり条例施行から5周年の年です。

「男女共同参画社会」とは、家庭、地域、職場などあらゆる場で性別などに関わりなく、すべての人が自分の意思で参画し、ともに支え合い、認め合い、喜びも責任も分かち合える社会のことです。



それいゆ編集協力員が
男女共同参画について

市長に突撃インタビュー



男女平等に関する法律や制度が整い、一人ひとりの意識も変わりつつあります。しかし、物事を決定する場に参加する女性の割合は、まだ少ないのが現状です。

男女共同参画社会実現に向けての考え方、ご家族とのことなどについて、それいゆ編集協力員が木下市長にインタビューしました。

男女共同参画センターをつくることについて どう考えていますか？

男女共同参画の活動も市民活動に含まれます。これまで草加市には市民活動の拠点がなかったため、市民活動センターをつくりました。

将来的には綾瀬川左岸広場に産業・市民活動・行政・防災・文化などの機能を集約させていきたいという議論が始まっていますが、その中にこのような活動の拠点機能を位置づけることもできます。

これまでの常識にとらわれずに、行政と市民活動の境界をつくらないあり方もよいのではないかと思います。

男女共同参画について市長の考えを聞かせてください

男女の違いにとらわれる必要はないというのが私の基本的な考えです。また「共同参画」よりも、共に支えあい生きる「共生」の方がよいと思っています。

草加市役所では、管理職の登用も男女の区別は一切ありません。その人の仕事ぶり、特性、能力が大切であると思っています。

女性の社会進出は広がっていますが、男性が「主夫」となって家庭に入る選択はあまり認められていません。そのような選択がもっと広がらないと、この問題は解決しないと感じています。

DV被害者のサポート体制づくりを進めていた だけないでじょうか？

DV被害者のサポートに関しては、ぜひやりたい事業です。埼玉県東南部の5市1町でシェルターをつくろうという話もあったのですが、頓挫してしまいました。

行政だけではなく、市民活動団体の皆さんと共に取り組んで行きたいと思います。

市長のご家庭での男女共同参画は？

家族は、父・私・配偶者・息子の4人です。子育ては父がフォローしてくれています。カミさんは、主人と主婦を1人でやっていて、日常的な部分で私はほとんど役に立っていません。

子どもへの接し方は、男だから女だからではなく「人間的にシャキッとしよう」と言っています。

とはいうものの、私は料理が苦手なので、大変申し訳なく思っています。私が役に立つのはカミさんのパソコンが動かなくなった時くらいでしょうか？

本紙『それいゆ』について感想を聞かせてください

行政の出版物は伝えたいことが多く、文字ばかりで読まれなくなってしまうので難しいですね。いかに興味をひき、読んでもらえるようにするかが課題です。例えば、シンポジウムや講座に来られる人は興味を持っている人が多く、本当に伝えたい人はなかなか来てくれません。関心を持ってもらえるように思いきった工夫が必要です。

『それいゆ』は行政と市民の協働でつくっているのですから挑戦してみたらいかがでしょうか。



インタビューを終えて…

パートナーの呼び方を聞いてみたところ、外ではカミさんと呼んで、堅い場所では妻、家では「ないしょ」という返事。ご夫婦の仲のよいところが垣間見られました。あなたの家ではどうですか？

女性で第1号!

男女共同参画

輝き★インタビュー

男性だから・女性だからということにこだわらず、好きなことへの熱い気持ちや自分らしさを活かし、地域や職場でいきいき活動するのはみんなの願い。
いっしょには『草加初の女性〇〇』として活躍している、素敵な女性を紹介します!



女性で初めて市議会議員になられた袖山みゑさん。お会いしたら、しっかりと頼りがいのある、話しやすい、それでいてとても控え目なやさしい方でした。

昭和57年11月の選挙で市議会議員に初当選。当時は女性問題を論じる基盤もなかった時代、袖山さんをはじめとする女性たちの努力でやっとのこと福祉部門に女性問題担当の係を置いてもらったそうです。(昭和61年4月1日福祉部勤労課に婦人係を新設)

昭和62年に今の草加市男女共同参画審議会の前身である草加市女性問題協議会が作られてからは、14年間続けて議会代表の一人として協議会の委員を務められ、女性政策の方向性を定めた最初の草加市女性行動計画(平成元年度から7年間の行動計画)の策定にも深く携わってこられました。

平成4年には女性で2人目の副議長※、そして平成13年12月には女性で最初の議長に就任。

草加初の女性議長 袖山 みゑさん

「議長になってから大変なことはありませんでしたか」とお聞きしたら、「議会は基本的に男女平等なんです。一番困ったのは市民からの相談を受ける時間が少なくなったことです」とのお返事。「少しの暇を見つけては電話での相談に乗ったりして、そこから得られた市民の要望を議会へあげて行くのが議員の職務と思ってやってきました」

議長になる前のことも含めると、

独居老人への配食サービス、ヘルパーさんの派遣、緊急通報用ペンダントの導入、女性消防職員の採用、それから、暮らしのガイドブック『あつ、そうか!』も提案し皆で考えました」とさりげなく笑顔が輝きます。女性ならではの生活に密着したやさしい目線に、やはり議長に推薦される方だなと納得。

議長退任後に議員も勇退、現在は町会の役員や地域ボランティアなどにお忙しい毎日。「これから福祉、子育て、女性政策をライフワークにやっていきたい」と意欲を語る姿がとても印象的でした。

※女性最初の市議会副議長は、金田恒代さん。(昭和59年12月就任)

(聞き手 S・T)



「AYOUNG KATSUBENSHI」(若手活弁士)として、2008年版高校の英語教科書にも紹介されている麻生子八咫(あそうこやた)さん。

今年の9月に大学を卒業したばかりの子八咫さんは、幼いころから、活弁士の父、麻生八咫さんの芸を見て育ち、10歳で浅草木馬座からプロデビュー。

「活弁は、日本独自の文化として始まり、発達してきたんですよ。きつと、海外ではバントマイムの文化があったからあまり発達しなかったんでしょね」と語る子八咫さん。小さい頃は、おとなしく口数も少なく、自分の気持ちを伝えるのが苦手だったそうです。

ところが、ある時、父の公演の語りを見て、お客さんが泣いたり笑ったりする姿を目の当たりにして衝撃を受けたことから変身。映像と弁士と観客が三位一体となる瞬間の喜びを共に感じていきたいという思いに

草加初の女性活動弁士 麻生 子八咫さん

とられ、活弁士の道に。10歳のプロに、師匠である父からは、自己管理や楽屋でのマナーなどの厳しい指導。毎日の練習、5年間は続けるという約束のもと学業との両立はとても大変で何度もやめたいと思ったそうです。

「将来的には、映像に語りを入れることはなくならないし、逆に素朴さを大切にし、語り口調を重視していきたい」とのこと。また、「地方公演で出会ったおばあちゃんから『また来てくださいね』と言われたことが心に残っている。旅先での師匠である父との会話、家族の応援が今の私を支えていると思います」とも。

男女共同参画については、「男女の壁は意識せず自分らしさを大切に楽しいスタイルで活動していけばいいのではないのでしょうか。これからも、たくさんさんの知識を習得し、活弁士として実演できることが自分にとって充実できる生き方です。今までの生き方以後悔はありません」とそこには、キラキラと瞳を輝かせる日焼けした24歳の彼女がいました。

(聞き手 A・S)

番外編

男女共同参画のはしり!? "おせんさん"

草加を代表する名物「草加せんべい」これを初めてつくり、商品にして世に売りだしたのが「おせんさん」と言われています。

草加が日光街道の宿場町として栄えていた頃、おせんさんは旅人相手の茶店で、美味しい団子をつくり、大勢の人に喜ばれていましたが、その団子もしばしば余ってしまうことも…

そんなとき「団子をつぶして天日で乾かし、焼き餅として売ってみては」と、茶店に立ち寄った侍の一言で、せんべいが生まれたとか(俗説)

おせんさんが生きていたと思われるころは、男性優位で女性が生きにくかったと言われる時代。

でもおせんさんは誇りを持って働き、持ち前の行動力でせんべいをつくり、売り出しました。

おせんさんへ「草加せんべい」は次の世代にしっかりと継承していきますよ。安心してください、そしてありがとう…」



幸せな食のひととき写真展

男女共同参画さわやかサロンの「幸せな食のひととき写真展」に応募のあった作品（38点）の中から、来場者による投票で選ばれた4点です。食の大切さ、家族で食卓を囲む楽しさなどについて改めて考えてみてはいかがでしょうか。



『たのしいおやつ』
高山 幸一郎さん（金明町）



『歩きながらの食事』撮影地 チベット
吉田 俊雄さん（北谷二丁目）



『いただきます〜す』
田村 博邦さん（稲荷三丁目）



『お父さんお母さんいつもありがとう』
浜野 文夫さん（稲荷三丁目）

昭和18年、草加の草創期にひとりの女性
が教職の道を歩んでいた。草加市で初の女
性校長を務められた石井千代さんである。
草加小高等科から埼玉女子師範に入学。
昭和18年卒業と同時に新田小に赴任、昭和
59年に退任するまでの41年間に及ぶ教員生
活のスタートだった。
「母には勉強しろとよく叱られました。女
子師範も母にすすめられて受験したような
もの」と語る。
当時の女子師範は全寮制。石井さんの困
難にくじけない前向きな生き方には、厳し
い寄宿舎生活が大きく影響している。見せ
ていただいた1枚のセピア色の写真には、戦
時下にあっても向学心に溢れ、輝く瞳の少
女たちが写っていた。
「後続く女性教師たちのために道を拓
け。それをするのはあなたの責任だ！」上
司の言葉が、管理職の道へのきっかけだった。
昭和45年には、草加市初の女性教頭に就
任。当時の女性教頭は埼玉県内で15人。校
長になった昭和51年でも女性校長は県内で
13人。厳しい道のりだったことが想像される。

草加初の女性校長 石井 千代さん

「子育てのころは、昼休みに、授乳のため家
に自転車走らせながら研究授業の構想を
練ったり、その頃が一番大変でした」「管理
職になってからは、女性だからという特別な
苦労は感じなかった」と言う。児童数の急
増する中で若い職員の指導や、新設校の校
長として地域との連携など「やることはやる、
言うべきことは言う」との信念で信頼関係
を築かれた。
「京大の大学院で教育哲学の教授となった
教え子の女性から『自分が教職の道に進ん
だのは、お習字を教えてくれたときの石井
先生の手の温もりが忘れられなかったから』
という手紙を貰った。本当にうれしかった」
と、子どもたちから「一番おつかない先生」
と慕われた石井千代さんは目を細めた。
インタビューで伺ったお住まいには、丹精
された花壇と広い
家庭菜園。ご家族
に囲まれセカンド
ライフを楽しませ
ている。
(聞き手 T・O)



「お味噌の保存は冷凍
庫が最適なんです！味
噌は家庭用の冷凍庫で
は凍らないですよ」
草加初の女性農業委
員として2期目を迎え
た藤波博子さんはもうひとつ、味噌を通して「ふ
るさとの味伝承士」という顔をもつ方でもある。
知的な語り口の中から農業や地域の発展にかける
エネルギーな情熱が伝わってくる。
藤波さんの原風景には生まれ育った松江町の豊
かな水田地帯がある。農業を愛し生涯農業に関わ
りたいと、都市化や工業化のうねりの中で今も
1・6haの農地を守っている。
農業委員という一般にあまり馴染みの少ないこ
の組織は、市町村に設置が義務付けられている行
政委員会、農業の振興や農地の利用などに関す
る広い役割をもっている。例えば農地の売買・転
用時の調査など、無秩序な乱開発から農地を守る
使命がある。
農業委員をはじめ、農協など農業関係団体に女
性が出ることは少ない。今、農業の担い手はほと
んどが女性なのに表に出てくるのはやはり男性が



草加初の女性農業委員 藤波 博子さん

中心。「そのような状況で私が推薦されたのは、女
性にスポットが当たっている時代だからでは…」
と農協（旧JA草加）の理事を10年来続けられた
藤波さんは自ら分析をされる。
現在、草加市の農地は市全体の面積の1割に満
たない。農家戸数は612戸。農家人口は
2665人で専業農家はわずか16戸です。「農地の
減少により、農業が埋没してしまうのではと不安
になります。今後は、都市型農業への流れの中で
生産者と消費者の顔の見える農業、地産地消をす
すめるなど、草加の地場農産物の振興を目指して
いきたい」と語る。女性ならではの視点を生かし
た活躍に期待したい。
藤波さんは社団法人中央味噌研究所で味噌の研
究を40年間続けてこられた。2年前からは埼玉県
認定の「ふるさとの味伝承士」としても活躍して
いる。市農業祭での手づくり味噌のPRや、小学
校での味噌づくり指導など「声がかかればどこへ
でも出向きます！」と味噌を通じた活動にも意欲
的だ。
「農業委員」に「ふるさとの味伝承士」とひと
むきな藤波さんの若々しい表情が印象的でした。
(聞き手 T・O)

それいゆ川柳

主夫・主婦のつぶやき

『それいゆ』第60号で募集し
皆様からお寄せいただいた作品です。❖ 老夫婦 つぶやきだけで 言足りる
原町 大平 勝朗❖ 何万回 みがいただらう この流し
弁天 山本 愛子❖ 定年で 主夫業デビュー もう間近
西町 永井 秋男❖ 独り言 ときには愚痴と 間違われ
八幡町 渡部 洋靖❖ ストライキ 起してふてね 知らんぷり
松原 土谷 富美子❖ 主夫出来ず ヘルパーさんが 主婦変わり
原町 河野 隆❖ あらいやネ 又あらさがし？ 夫の目
瀬崎町 小菊❖ トックリを 振れば女房も 首を振り
氷川町 只野 広平❖ 最後まで 今日の肴は 妻の愚痴
金明町 飛松 典男❖ ぐち言えぬ 嫁の逃げ場は 洗い物
栄町 田中 典子

次号の作品(川柳)募集

テーマは「男の本音」

コメントを添えて、ハガキ、FAXまたは
Eメールでご応募ください。《締切》平成22年3月31日まで
《送り先》〒340-8550草加市高砂1の1の1
草加市役所人権共生課《電話》048-9222-0825
《FAX》048-9227-4955

《Eメール》jinken-kyosei@city.soka.saitama.jp

出会う

男性、女性どなたでも世代
を超えていつでも気軽に利用できます。
友人と語りあったり、読書を楽しんだり、
ほっとするひと時をすごしてみませんか。

知る

約500冊の図書があり、貸出し
もしています。国、県、市からのお知らせや講
座等の情報、サークル活動のお誘いなど各種情
報を提供しています。

男女共同参画の拠点

『男女共同参画さわやかサロン』

つてどんなところ？

おすすめ図書

『笑いの医力』高柳 和江
『女性検診がよくわかる本』対馬 ルリ子草加市文化会館の2階、図書資料室。
松並木が一望できる角部屋が『男女共同参画さわやかサロン』です。
場所■草加市松江1-1-5 ☎048-931-9325 (内線50)
利用時間■平日及び第1土曜日(第1水曜日は休室) 午前9時～午後5時

学ぶ

“勇気・感動・感謝”

『時代を切り拓いた女性たち』

荻野 吟子
(埼玉県出身)
平塚 らいてう
市川 房枝
松井 須磨子
三浦 環
樋口 一葉
津田 梅子
他新コーナー『時代を切り拓いた女性たち』
では、江戸時代末期から明治、大正時代にか
けて、女性である自分を真正面からみつめ、
人生を切り拓いた女性たち20名を写真ととも
に紹介しています。
ぜひご覧ください。

相談する

女性の生き方なんでも相談

女性が抱える家庭や職場、身の回りの様々な問
題を女性相談員がともに考え、相談に応じます。
相談者の秘密は堅く守ります。

相談無料

相談日

毎週木曜日、毎月第1土曜日

午後1時から5時まで

場所

草加市文化会館相談室(電話相談可)

申込み(要予約)

草加市文化会館 男女共同参画さわやかサロン
(2階図書資料室)

☎048-931-9325

内線50



イベントのお知らせ

- 報告
平成21年 8月 わたしの“ほんね” パート3作品展
8月 夏休み親子料理教室
11月 大型紙芝居&ふれあいトーク
- 予定
平成22年 2月 “家族の絆” 写真展
※作品募集は1/7～29
詳細は広報そうか元日号等で発表
3月 学習会※詳細は検討中



国立女性教育会館(NWEC)に行ってきました！

埼玉県嵐山町にある国立女性教育会館で8月
28日から30日にかけて開かれた、「男女共同参
画のための研究と実践の交流推進フォーラム」
にそれいゆ編集協力員、男女共同参画審議会委
員ほか13名で参加しました。このフォーラムには全国各地から、男女共同
参画社会の実現を目指し活動している団体、大
学、公共施設等の関係者が参加。活動発表や展示、
ワークショップ、シンポジウム等が行われ、どの
会場も大賑わい。会館はどなたでも利用でき、周辺では四季折々の
豊かな自然も楽しめます。新しい発見や学び
の場として、皆さんも一度出かけてみてはいか
がでしょうか。場所 ■ 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地
☎0493-62-6711 (代表)
ホームページ <http://www.nwec.jp/>

男女共同参画フォーラム開催のお知らせ

平成22年2月27日(土) 午後1時～4時30分予定
場所 ■ 草加市文化会館レセプションルーム
※詳細は決まり次第、広報そうか2月5日号等で発表

編集後記

輝きインタビュー
でお会いした方々は
とてもエネルギーッ
シュで一途さを感じ
ました。だからこそ
女性第1号になれ
たし、やり遂げられ
たのでしよう。「男女共同参画」と
いう言葉は耳慣れな
い人が多いかもしれ
ません。でも思うの
です。難しい言葉は
知らなくても良い。
ただ幼子も若者も老
人も、女も男も、人
として互いの尊厳を
守り、信頼し合うこ
となのだ。この『そ
れいゆ』でその小さ
なお手伝いが出来た
ら嬉しいです。(T.O)『それいゆ』の編集を引
き受けたものの、草加に
転居して日が浅く、市内
で活躍している女性をあ
まり知りませんでした。
しかし、インタビューを
通し素敵な女性たちと出
会うことができました。
皆さんが自然体で取り
組む姿に「自分らしさ」
を強く感じ、草加の女性
たちガンバレ！という思
いです。(A.S)